

# 国総研が取り組む研究のカテゴリー

国総研では、国土交通省の政策の企画・立案及び実施を支援するため、所として優先的かつ速やか（3～5年程度を目安）に解決すべく取り組む研究課題を技術政策課題として設定しています。技術政策課題は6つのカテゴリーに分類できるものであり、それぞれのカテゴリーにおいて以下に示す課題解決の方向性を持って研究に取り組んでいます。

## 安全・安心な社会の実現

我が国では、様々な危険事象によって毎年のように多くの人的・物的被害を受け続けているため、新たな危険事象の出現や強大化、地域コミュニティの変質や高齢化などの今日的な自然・社会環境の変化を踏まえながら、より一層の安全・安心な社会を目指します。

## 成熟社会における社会資本マネジメントの確立

社会資本整備への投資が抑制される中で、安全で美しい国土を維持していくために、既存の住宅・社会資本ストックの有効活用や維持・修繕・更新を計画的に行うマネジメントの確立を目指します。また、高齢化・人口減少などの社会状況や経済状況の変化を踏まえた国土マネジメントの将来像の明確化を目指します。

## 成長力・国際競争力の強化

都市・地域間の経済活動を支える効率的な交通・物流システムを構築することで、人や物の活発な交流を図るとともに、中枢・中核となる地域の産業・社会基盤の有効活用や、優れた技術の海外展開の推進により、我が国の成長力・国際競争力の強化を目指します。

## 環境と調和した社会の実現

人間活動が環境に与えるインパクトなど、環境と調和した社会の実現に向けた様々な課題を解決することで、美しい自然及び生態系が保たれた社会の実現を目指すとともに、河川や沿岸域等の国土の保全を目指します。

## 行政の効率化及び技術基準の高度化の実現

公共調達における品質・競争性・透明性の一層の確保や、情報通信技術（IT）の効果的な導入による行政の効率化を目指します。また、各種構造物の性能規定型の技術基準や性能照査手法の整備など技術基準の高度化を目指します。

## 地球規模の気候変動への対応

地球規模の気候変動による記録的な大雨の頻発や台風の大型化等によって水害、高潮災害等が多発しており、この様な深刻な地球温暖化の影響への適応に向けた取り組みを推進するとともに、地球温暖化の原因の一つとされる温室効果ガスの排出削減に向けた取り組みを推進します。